

2020.6

No. 97

西 都

社協だより

発行／令和2年6月15日



会長就任と退任のごあいさつ



退任のごあいさつ

社会福祉法人
西都市社会福祉協議会

前会長 甲斐 克則

この度3月末日をもちまして西都市社会福祉協議会会長の職を退任いたしました。

平成24年4月より事務局長並びに会長として務めさせていただくことが出来たのも、市民の皆様のご協力をはじめ、役職員、関係機関・福祉団体等の皆様のお力添えがあったからこそと、ひとえに感謝申し上げます。

社会福祉協議会は、市民の皆様にご協力をいただきながら「住民だれもが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせる地域づくり」を目指し、公共性・公益性を持つ団体として、住民組織や行政との協調性を大切にしながら活動に取り組んでいます。

現在、地域社会において複雑・多様化した生活課題が増加する中、社会福祉協議会の役割はますます重要となってきております。その役割を果たすべく、今後とも西都市社会福祉協議会に対し、変わらぬご指導とご交誼を賜りますようお願い申し上げます。これまでの8年間の皆様からのご厚情に感謝いたしまして退任のごあいさつとさせていただきます。



就任のごあいさつ

社会福祉法人
西都市社会福祉協議会

会長 黒木 郁雄

この度4月1日付をもちまして西都市社会福祉協議会会長に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、これからの社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に向けて、その職責を全うするべく努めてまいるので、前会長同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、西都市においても、少子高齢化の進展により一人暮らし高齢者世帯が増加し、それに伴って社会的孤立や経済的困窮など、公的なサービスだけでは解決できない課題を抱える世帯が増えてまいりました。また、成年後見事業など、認知症高齢者の権利擁護の取り組みも始まるなど、本会を取り巻く環境は大きく変化してきております。

このような中、社会福祉協議会は地域の要として、市民の皆様が必要とされる組織づくりを目指し、常に地域のニーズに耳を傾けるとともに、地域に密着した活動を目指し、役職員一丸となって地域福祉の向上に努めて参ります。

引き続き、市民の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。

お電話・FAXやE-mailで地域の皆さまの声をお聞かせください！

社協だよりの感想や社協に対するご意見・ご要望等なんでもお聞かせください。今後の事業推進の貴重な資料とさせていただきます。

社会福祉法人 西都市社会福祉協議会・社会福祉法人 宮崎県共同募金会西都市共同募金委員会

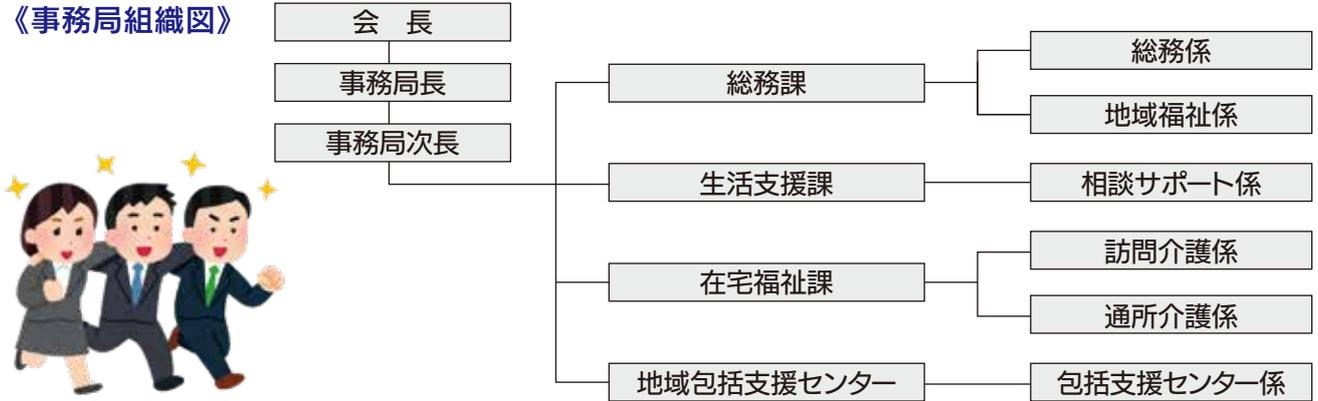
〒881-0004 西都市大字清水1035番地1(総合福祉センター内) TEL.0983-43-3160・FAX.0983-42-4743

E-mail saito-s@face.ne.jp ホームページ <https://www.saito-shakyo.jp>

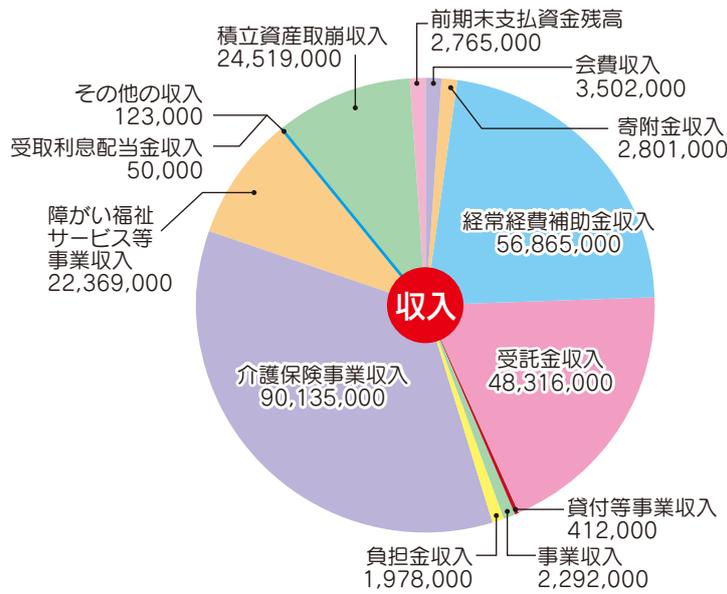
令和2年度 事業計画・予算

住民主体の地域福祉を推進する中核的な組織として、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができる地域に根ざした福祉のまちづくりのため、市民の皆さまとともに事業を推進していきます。

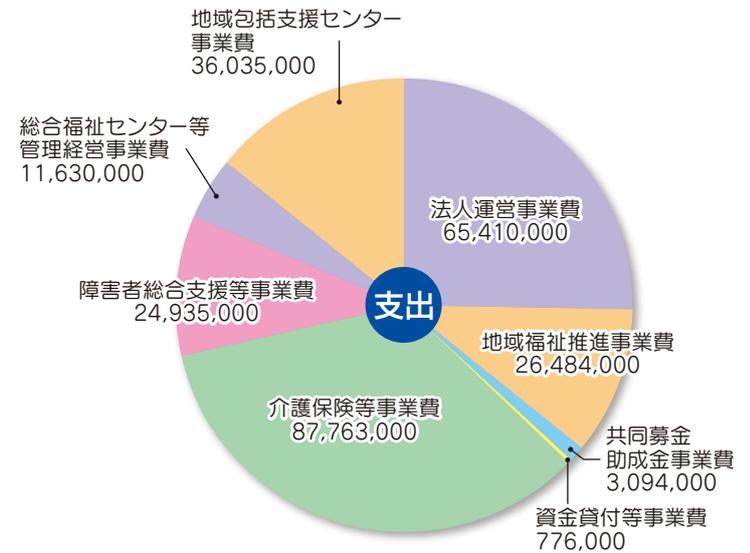
《事務局組織図》



令和2年度 資金収支予算



合計 256,127,000円



※拠点区分、サービス区分の繰入を除く。

合計 256,127,000円

総務課総務係

総務課総務係では、主に法人運營業務に取り組んでいます。

その他にも、社会福祉協議会が指定管理を受けている地域福祉センター・老人福祉センターの管理や、ピンクバスでおなじみの福祉バスの貸出も行っています。

みなさんによく「社協ってどこにあるの?」と言われるのですが、清水の清水台公園近くにあります。館内には健康器具のヘルストロン等もありますので、是非お越しください。

また、毎年10月から始まります赤い羽根共同募金の事務局も担当しております。今回お願いしています社協会費も担当しております。



総務課 地域福祉係

地域共生社会の実現に向け、ボランティア・市民活動団体等の各種団体との連携・協働の取り組みをはじめ、福祉コミュニティ(福祉推進会等)と共に「地域のつながりの再構築」を図りながら、「社会的孤立」や「制度の狭間」等の身近な課題に対応できる『**地域づくり**』をすすめます。

主な事業

●小地域ネットワーク事業

支援が必要な地域住民の早期発見・見守り支援活動を行い、「地域の福祉力強化推進事業」や「ふれあい・いきいきサロン事業」を通し、地域福祉活動のきっかけや居場所づくりを推進します。

●ボランティアセンター事業

学校や地域での福祉教育を柱に活動を担う人材を発掘・育成するための体験や講座、ボランティア活動に関する情報提供、相談・支援の他、災害ボランティアセンターの運営にも取り組みます。

●第1層生活支援コーディネーター業務受託事業

地域における生活課題とその解決に向けた取り組みを推進するため、第1層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置し、関係機関とのネットワークや既存の取り組み、組織等も活用して、地域での取り組み(サービス)の開発や地域における各サービスと利用者とのマッチング等の調整(コーディネート)に取り組みます。

●市民活動支援センター事業

市民活動に関しての啓発や相談対応、様々な分野で活動を推進する団体などの活動を支援します。

●西都市生きがい交流広場指定管理

地域福祉の推進拠点として、自主的・自発的に地域福祉を推進する団体等に、活動の場を提供、交流を通して市民の生きがいづくり・健康増進、地域コミュニティの活性化に努めます。

●歳末たすけあい募金助成事業

共同募金(歳末たすけあい募金)からの助成を受け、民生委員児童委員協議会や福祉推進会等の参加・協力のもと、高齢者や障がい者など支援を必要とする地域住民が安心して暮らせるための支援体制整備を目的に「歳末ほっとパック」を対象世帯に配布します。

●西都市民生委員児童委員協議会事務局

厚生労働大臣が委嘱する民生委員児童委員の組織的な活動や委員の研修等を実施します。

●西都市高齢者クラブ連合会事務局

高齢者同士、仲間づくりや生きがい・健康づくり、生活を豊かにする活動を行い、知識や経験を生かし、地域の様々な団体と連携・協働を図りながら、地域を豊かにする活動を実施します。



問い合わせ先

〒881-0034 西都市妻町1丁目73番地

TEL:32-0910 FAX:32-0909 E-mail:ikigai-kouryu@face.ne.jp

生活福祉課 相談サポート係

生活支援課相談サポート係では、誰もが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、地域の身近な総合相談窓口として、地域住民の様々な困りごとに対して、相談者の立場に立った支援を行います。



●ふれあい総合相談センター事業

何らかの生活のしづらさを感じている方々に対して、総合的な相談窓口事業を行っています。幅広い相談を受け付けており、相談内容に応じた必要な情報提供や助言を行っています。

●生活福祉資金貸付事業

低所得や障がいなどが理由で日常生活に不安などがある方々に、必要に応じた貸付を行い、経済的な支援を行います。貸付金の返済計画への助言も含め、今後の安定した生活が送れるように相談支援を行っています。

●西都市障がい者(児)生活サポートセンターなごみ

障がいを持つ方や、そのご家族等の相談をお伺いし、相談支援専門員がその人にとって最善の生活を一緒に考えていきます。お一人お一人に合わせたサービスを提案させて頂き、自立した社会生活が送れるよう繋げていきます。

●日常生活自立支援事業

日常生活に不安のある方が安心して生活できるよう、必要な福祉サービス等を利用するための援助や、それに付随する金銭管理などの支援を行っています。

●法人後見事業

自分で大事なことを判断することに支障がある方に、その方の意思を尊重しながらその方に代わって、金銭管理に留まらず財産管理や、福祉サービスに関する契約など法律行為を援助することで、生活全般の支援を行います。

何かに困ったらまず相談！

多くの機関などと連携し、様々な課題解決を行っています。

西都市地域福祉センター内(社協)に事務所があります。

電話相談などお気軽にご相談ください！



悩んだらまず相談!お気軽にご相談ください!!

TEL 0983-43-4613(直通)

西都市南地区地域包括支援センター



- 地域包括支援センターでは、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、医療、権利擁護など様々な面からサポートするために、主任ケアマネージャー・社会福祉士・保健師などの専門職が中心となって、お互いに連携しながら総合的に高齢者の生活を支えています。
- 西都市には、2つの地域包括支援センターがあり、社協には、妻南・三納・三財・都於郡地区を担当する南地区地域包括支援センターが設置されています。

西都市南地区地域包括支援センター

(担当エリア：妻南・三納・三財・都於郡)

TEL 41-0511



在宅福祉課

在宅福祉課では在宅で生活をする介護や支援が必要な高齢者や障がいを持っている方へサービスを提供しています。いずれも専門員やケアマネのたてた計画書が必要です。

● 居宅介護支援事業所 TEL 32-0140

介護支援専門員(ケアマネ)が要介護認定を受けた方の居宅介護サービス計画書を作成します。

● 訪問介護事業 TEL 32-0076

訪問介護員(ヘルパー)が自宅へ訪問して家事の援助や身体介護を行います。

● 訪問入浴事業 TEL 32-0076

看護師と介護員が入浴車で自宅に伺い、居室に運んだ浴槽で介助をしながら入浴サービスを提供します。

● 通所介護事業所 (地域密着型通所介護) TEL 42-4795

介護員が自宅からデイサービスセンターまで送迎を行い、レクリエーション、運動、入浴、昼食を提供します。

● 山村憩いの家生きがい活動支援通所事業 TEL 46-2693

東米良にあります山村憩いの家にて週3回、送迎、食事、入浴などを提供します。

● 配食サービス事業 TEL 42-4795

夕食を自宅へお届けし、安否確認の声掛けをいたします。西都市への申し込みが必要です。



居宅介護支援事業所



訪問介護事業



訪問入浴事業



通所介護事業所(地域密着型通所介護)

マスクのお礼



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、マスクの入手が困難となりました。

そのような中、事業所や個人の方から“必要な方にお配りいただくと幸いです”とマスクをいただきました。

いつまで続くか分からない状況の中、非常に心強いご寄附でした。本当にありがとうございました。



素敵な手作りマスクもいただきました！

社協会費にご協力をお願いいたします

社協の活動を支える財源は、市からの受託金・補助金のほか、皆さまからの社協会費によって支えられており、中でも貴重な自主財源となっています。

今年も区長さん・班長さん・公民館長さん・実行組合長さん等を通して社協会費のご協力をお願いしております。

わたしたちがいつまでも西都市で暮らしたいと望むとき、そこには住み慣れた場所があり、知っている人がいて、安心できる環境があると思います。そうした望みが叶えられるよう、住民の皆さまの参加・協力による地域福祉活動を推進してまいります。

社協活動の趣旨にご賛同いただき、社協会費の納入にご協力をお願いいたします。



★香典返し・一般寄附のお礼

令和2年2月1日から令和2年5月31日までに、次の皆さまから社会福祉事業にとご寄附をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。尚、この欄は、寄附者の掲載意思を尊重(確認)した上で掲載させていただいております。

香典返し寄附 ※敬称は略させていただきます。

寄附者名	故人	集落名	寄附金額
長友 千明	妻・敦子	童子丸	金一封
川野 晴江	夫・義高	門田	金一封
長友 和文	父・忠市	粟野	金一封
池田 幸一	母・千鶴	中村	金一封
藤田美津江	夫・勇男	石野田	金一封
関屋 誠治	母・信子	潮	金一封
石井 道英	夫・寛	立野	金一封
長友 華	夫・俊	黒生野	20,000
五六 明	長女・弘子	堂ヶ島	金一封
湯村 佑子	夫・賢一	並木	金一封
中武 安彦	母・モト	椿原	金一封
米良 武俊	母・絹	蘭元	金一封
岩倉 久光	父・好幸	石尾	金一封
児玉 安則	妻・キクヨ	久保鶴	金一封
圖師千鶴子	夫・栄	法元	金一封
岡田 勝子	夫・勝義	長園	金一封
黒木ミヨ子	夫・利晴	平ヶ八重	金一封
黒木千代子	夫・良雄	清水	金一封
酒井 和代	夫・盛男	長野	金一封
成合 孝子	夫・幹雄	粟野	金一封
長友 道夫	母・キミ工	八重山	金一封
宮田恵美子	夫・一弥	童子丸	金一封
幣島 英子	夫・幸男	清水	金一封
安藤 義康	母・艶子	岩崎	金一封
杉尾 ミツ	夫・勉	上ノ宮	金一封
横山 満子	父・信男	原口	金一封

寄附者名	故人	集落名	寄附金額
壹岐 隆明	母・サエ子	宮崎市	金一封
木村 藤子	父・達美	岩崎	金一封
清野 政美	母・須磨子	—	金一封
今井 広文	父・親光	—	金一封
甲斐 博幸	母・フデ	小豆野	20,000
隈江 紀公	母・広子	三宅	金一封
江藤 一郎	母・シゲ子	八木佐野	金一封
後藤 恒男	妻・テル子	中山	金一封
本部スエ子	夫・保男	蘭元	金一封
斉藤 友昭	母・侑子	霧島	金一封
河野 昭子	夫・晃	桜馬場	金一封
横瀬 純子	父・濱砂実美	上揚	金一封
安芸 勝寛	妻・敬子	平郡	金一封

一般寄附

- 米良武俊
福祉用具の無料貸出にとポータブルトイレをいただきました。
- 宮崎県立西都商業高等学校
社会福祉のためにと閉校に伴いご寄附をいただきました。
- 戸大建設工業(株)
地域福祉のためにとご寄附いただきました。
- 居宅介護支援ひなた
支援をしている方々に届けてくださいとマスクをいただきました。
- 黒木さわ子
マスクの作成にご協力いただきました。
- 安藤義康 ■斉藤友昭
紙オムツをいただきました。



香典返し・一般寄附は「特定寄附金」に該当し、所得控除や税額控除などの税制優遇措置を受けることができます。お気軽にお問い合わせください。

この「社協だより」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。